

ヒブ（Hib）予防接種について

病気（ヒブ）の説明

インフルエンザ菌、特にb型は、中耳炎、副鼻腔炎、気管支炎などの表在性感染症の他、髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な深部（全身）感染症（侵襲性感染症とも言います。）を起こす、乳幼児にとって問題となる病原細菌です。現在は、Hib ワクチンが普及し、侵襲性 Hib 感染症はほとんどみられなくなりました。

乾燥ヘモフィルス b 型ワクチン（Hib ワクチン）（不活化ワクチン）

インフルエンザ菌は 7 種類に分類されますが、重症例は主に b 型のため、ワクチンとしてこの b 型が使われています。

副反応について

発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、疼痛、発熱、不機嫌、食欲不振などが認められています。

接種時期

生後 2 か月～5 歳未満の方。ただし、接種開始月齢によって接種回数、接種間隔が異なります。

(1) 生後 2 か月～6 か月（推奨年齢）で初回接種を行なう場合

接種回数：4 回

接種間隔：初回接種：27 日以上の間隔をあけて 3 回（生後 12 か月までに完了）

追加接種：初回接種 3 回終了後、7 か月以上の間隔をあげ、かつ 1 歳を過ぎて 1 回

(2) 生後 7 か月～11 か月で初回接種を行なう場合

接種回数：3 回

接種間隔：初回接種：27 日以上の間隔をあけて 2 回（生後 12 か月までに完了）

追加接種：初回接種 2 回終了後、7 か月以上の間隔をあげ、かつ 1 歳を過ぎて 1 回

(3) 1～4 歳で初回接種を行なう場合

接種回数：1 回